

まちこさん

春夏

僕の引越してきたこの街で昔から噂されている「まちこさん」。

まちこさんはどんな願い事も叶えてくれるらしい。ここでできた最初の友人がそう話していた。

次の日、彼は行方不明になった。警察が事情を聞きに来て些細なことでもよいとのことなので、最近彼はまちこさんの話をしていた、と伝えると、警察はまたかという呆れた顔で、そのことを知りすぎるとだめなんだと言った。

僕は彼がどこにいるのか、同時に彼が話していた「まちこさん」が何者か知りたかった。

そこからは早かった。

まず新聞で彼らの情報を探そうと思ひ、街の大きな図書館に行き彼らを調べることにした。中々、資料は見つからなかったが僕は諦めなかった。その結果街の古い新聞を見ると、ある記事を見つけた。

「子供一人行方不明 2年前に行方不明の子供遺体で発見」

不自然に思った僕は、それに関係した過去の記事を見返した。

結論から言うところだ。行方不明になっていた子供が死体で見つかり、別の子供が行方不明になると

いうことが繰り返されていた。実際、友人が行方不明になった時も少し前に行方不明になった別の子が遺体で発見されていた。

僕はこの事件についてもっと知りたくなり、最初に行方不明になった人が誰なのか調べた。

かなり前の記事に書いてあった、聞き覚えのある名前。まちこさんだ。ただ現在も行方不明らしい。

彼女の本名は

「如月 万知子」

そう、声に出してしまった。ふっと視線を上げるとそこには友人がいた。ただ、どこかが変だった。

あ、万知子さんなら願い事を言おう。ただ僕が言うより先にあつちが

「お前の番だ。」

と言っていた。

行方不明になった少年の姿が最後に確認された図書館に来て、街出身の巡査部長に尋ねた。この街つて人が消えすぎませんか?と。

巡査は言った。

「知らないの?彼女のことを。」

彼女とは誰のことなのか気になったが聞いても調べるの一点張り。

家に帰ったら調べよう。